



ペンギんぐみだより

9月

最近の子どもたちの様子



2021年9月1日 保土ヶ谷保育園

ペンギん組担任

ひと夏を過ごし、子どもたちも一回り大きくなったように感じられます。思いやりの気持ちを素直に表現できるようにもなってきました。「先生すごい大変そうだね」、「大丈夫?」と声をかけてくれたり、ただ肩を抱き寄せて慰めてくれたり、優しさが溢れています。また、布団運びや、シーツを外してたたむなどのお手伝いが大好きです。布団運びが「布団運び競争」に発展したり、シーツを丸めて「海苔巻き」に見立ったり、お手伝いが遊びや生活の一部になっています。

給食とおやつ後に、自分のコップでブクブクうがいを始めて1か月以上が経りました。個人差はありますが、当たり前のようにうがいをする子が多くなったので、プラスαで「鏡を見て口の周りが汚れていたら洗ってみよう。かっこよく（素敵に）なるね」と声をかけてみました。保育者は確認せず、その様子を鏡越しに遠目で見守っています。洗った後に綺麗になったか確認し、OK だと思った瞬間の、鏡に映る決めポーズが、もうすごく可愛くて!! 子どもたちは、生活する中で、自分なりに考え、やってみようとしたり迷ったり、一人一人が違った感じ方をしているんですね。私たちは、子どもの内面に気づいてタイミングよく励ましたり褒めたりしていき、安心や自信につなげていきたいと思っています。

秋祭りについて

9月17日（金）の午睡後に、幼児3クラスで秋祭りを楽しみます。子どもたちが作った品物をお店・ヨーヨー屋さん・うちわを作るコーナーなどを、お友だちと廻った後は、ホールでチューチューアイスを食べたり、盆踊りを踊ったりして、お祭り気分を味わいたいと思います。

8月中からペンギん組でも、提灯やお店で売る物を作り始めています。作ったものに愛着がわき、手放したくないから、もう一個作る子や、「たくさん売ろう♡」と何個も一生懸命作る子など様々です。当日、お子さんが何を買ってくるか楽しみにしててください♪



防災の日にあたり

保育園では毎月1回避難訓練を行い、外に避難する時は、個人の足サイズに合わせた避難靴を履きます（必要に応じて折り畳みヘルメット）。園外避難は災害状況にもよりますが天王町公園です。大切なのは、子どもは、保育者の話しをきちんと聞けるようになること。保育者は、冷静に判断し子どもたちに指示を出せるようにすることです。保育園を子どもたちの命を預かる場所であり、子どもたちを守らなければならない場所です。肝に銘じて努めていきたいと思っています。



今月の活動

- ・秋祭りに向けて品物作り
- ・集団ゲーム（じゃんけん列車、カードめくり競争、フルーツバスケット）
- ・歌（とんぼのめがね、勇気100%など）
- ・運動（転がしドッチ、長縄跳び、かけっこ）



お願い

- ・7、8月の間、泥遊び用袋の用意していただきましたが、9月からは使いません。ご協力ありがとうございました。今後は、汗かいた後や汚れた時などはシャワー行うので、タオルは通年、着替え入れの黄色引き出しに、常時ご用意していただき、使用後は補充をお願いします。